

## 「第12次徳島県職業能力開発計画（素案）」に係るパブリックコメントの実施結果について

令和8年2月9日（月）から令和8年3月10日（火）まで「第12次徳島県職業能力開発計画（素案）」について、パブリックコメントによりご意見を募集したところ、1名の方から1件の御意見をいただきました。

御意見の概要と県の考え方は次のとおりです。

番号	ご意見・ご提言等	ご意見に対する考え方
1	<p>西部テクノスクールの在職者訓練ですが、公的機関の信頼性を活かして「低圧電気・高圧電気」の特別教育やフォークリフト特別教育といった特別教育レベルのものは最低でも揃えて実施した方がよいと思う。現状だと中途半端で、結局県外に受講しに行かないと行けなかったり不便。</p> <p>あと、危険物取扱者、第一種電気工事士、1級及び2級電気施工管理技士、第三種電気主任技術者の講座はあった方がよい。近隣につき高校もあるので、そちらと提携講座で実施すると相乗効果が見込める。アーク溶接の講座は、材料持参となっているが、受講生の就職先に声掛けして溶接資材の提供を受けた方が受講者の負担にならず助かる。現状だと材料を持ち込まないといけないので参加しにくい。</p> <p>また、下水道よりも合併浄化槽の保守負担の方が費用が安価な事から普及が見込まれるため、浄化槽管理士等の浄化槽有資格者が必要となる。浄化槽の勉強ができる講座を設けた方がよい。</p>	<p>「第3部 2（2）」に記載しているとおり、あらゆる産業で人手不足が深刻化する中、企業が生産性を向上させるためには、「在職者訓練」の充実や普及推進により、企業のリスキングの取組を支援することが重要と考えており、いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>